京城新聞

●黒船當時の新聞紙

昔より少し大きな出來事が起ると死版といふ急拵への摺物を作つて「これは今度大評判」と市中を賣歩いたもので當時に於ける一種の新聞紙である此の評判くどきも死版式急拵への駿河半紙に摺た上下二冊の粗末な物にて人の集へる場所に立て節をかし氣に唄つたものである、文句の中の「船の長さ八十五間横の廣さ六十四間」は振つてゐる之では恰で盥の樣な船である又「敵を松山十萬石餘若も大船つく田であれば」の掛け調あたりは何處までも鄙文式で頗る暢氣な所がある兎も角も當時日本人の眼に映じた亞米利加人は斯んな風であつたのだ

「凡そナニ、我邦大日本は伊勢國天照大神宮の御末の神國なれば、御代は盤石動かぬためし、武勇はげしき六十餘州ものゝみのりも豐であれば、海を隔てし異國の船が、肥前長崎九州までも、我もくと交易船を、風に任せて入來る中に、今年嘉永の六月初め、國は相州浦賀の沖へ港目めげて乘込む船は、海路離れて五萬里先の、北の端なる亞米利加國よ、都合四艘は皆黒船で縱の長さは八十五間、横の廣さは六十間餘蒸汽船とて其の有樣は、小緣くに大砲並べ、いじやう三色の帆を引揚げて、帆綱一万六千筋を、紬と繩へしつかと結へ、内に二つの車を仕掛け、船の内より雲霧起し、浪を蹴立てたゞ一時に、里數五萬里矢を突く如く、浦賀港の御關所前へ、二艘並べて錨を下すヤンレエ

「喇叭ちやるめら篳篥の、音に固の役人方は、異國船よと驚き慌て、諸所に合圖の狼烟を揚げて　貝を吹立て陣鐘鳴らし、傳馬早舟注進船の、數を限りと乘出される、大津御陣屋川越樣の、人數三萬六千餘人、三浦三崎は六萬人で、東三十三ヶの國の、御旗頭が御固めなさる、海を隔てゝ向地越は、安房と上總の御臺場固め、忍の城主に會津の國主、續く下總常陸の海へ、夥かしりの大小名が、風にたなびく旗挿物で、ひかためる大砲小づゝ、素破といふたら打放さんと、凡そ其勢十萬餘人、備へ亂さず事嚴重に、勇み進んで御固めなさるヤンレエ

「扨もサエ、異國の黒船騷ぎ港口まで乘込む程に、江戸へ注進晝夜をかけて、御上樣より大日本の、諸國大名旗下方へ固めくをいひ付けられる、武藏内浦本牧端は肥後の熊本九曜の星の、御紋所が御固めなさる五十三次東海道の軒を並べし神奈川臺は、派出な備の伊達遠江、州崎大森毛利の一手御殿山なる御固めこそは、これぞ越前福井の大守、昔に高輪十八町の、海手固むる姫路の城主續く芝浦其の海邊を、こゝに固めて稻葉の國主、御濱御殿は皆一樣に、敵を松山十万石餘、若も大船つく田であれば火蓋切らんと待つ鐵砲洲、これぞ四國の德島樣よ思ひ深川なに立花の、一家殘らず備を立て、一手くに御固めなさるヤンレ

「されば サエ、浦賀の御奉行樣は、上の仰せを承はりて、星の兜に物具固め、同心三千餘人、騎馬の寄武者千人許り、弓矢鐵砲槍長刀の、穗先揃へて出役あれば、亞米利加人は、通事附添ひ八百餘人船を上りて陣屋へ來る、見るに身馴ぬ其の風俗は髮は縮れて鼻筋透り眼眸兎の如く、甲馳掛な異服を着なし劍と小筒を脊中に背負て年に一度の交易願ふ、時の奉行の申するとは、昔このかた當所に於て異國交易御法度なれば、夫を押しての望みとあらば有無の合戰遂げたる上で、勝負次第に返答せんと、差も手強き其一言に鬼を欺く亞米利加人もこの勇氣に畏れを取りて恐れ服してすごく船へ人數引取り、帆を卷上げて己が國へと、船漕ぎ返す、武勇はげしき我神國の、威勢威德は萬國までも響き渡りて萬民が安堵、四海浪風をさまる御代の子供話を審記しますヤンレエ、

●葉錢整理に就て（續）

某當局者談

▲通用制限の勵行　葉錢は少額取引の爲めに其存續を認むるものなるを以て一圓以上の取引には絕体に之れが使用を禁ずるの方針により其需要を制限して從來繰返されたる價格の變動を極力防止せんとす此の如く公定價格及通用制限の勵行により葉錢相場の根絕を謀ると共に自然流通過剩に屬する葉錢は之れを引き上げて處分す可く強ひて之れが吸收引上げを急にして却て小取引に障害を與へ一面に相場の發生を來たし葉錢價格を騰貴せしむるが如きことなからんことを期す政府の方針は以上の如くなるが之れを勅令發布後の實蹟に照らすに本年六月勅令發布の當時に於ては各地葉錢の相場は二十一割前後區々に渉りたりしも七月一日勅令施行後は官民の協力により殆んど公定價格に一定したり唯間々開港商人等の舊來の迷夢尚醒めず私に相場を抑揚して葉錢投機に耽るものあるが如きも僅少なる相場を生ずるに留まり大勢を動かすに足らず一般には頗る良好なる結果を呈せり（完）

五月闇（四十六）

河合柳葉

濱川は磯を繼いて、

「何しろ有名な旅館のことだから、大勢の人々が大騷は爲るけれど、誰あつて御前を救はうと云ふものは一人もない、唯モウ小田原評定に時を移して、鐵砲で打留めやうとか、日本刀で斬らうとか、槍で突き殺さうとか、騷々の評議はかりで徒に時刻を過してる中に御前は呼吸が苦しくなつたものか、今にも息の斷れるやうな哀れな聲を出して、救をお呼びになる一同はソイくと大騷をするが、自分の生命が欲しいから手を下すものは一人もない、モウ御前は眞青にお爲りなすつて、聲もお出しにならず、現世の人とは無いやうな在樣にお爲りなすつた、ところへ何處から現はれたのか、一人の筋骨逞ましい若者が現はれて、突然短銃を擬して今にも打ち殺すやうな勢を示すと、二疋の蛇は殘念さうに其若者の顏を睨むで、何處を奈何して出たものか、姿は掻消すやうに見ゑなくなつて了つた。」

時子は息を凝して聞いて居たが、此時ホツと息を繼いて、

「何てまあ怖ろしい夢でせう、私身の毛が悚立ちました。それから御前は奈何遊ばしたの。」

「それから一同が寄つて集つて御前の御介抱を爲たけれど、熱が激しくつて囈言ばかり仰しやるから、直樣人を走らせて有名な醫學博士二人を迎へて診察爲て貰つた所が、二人とも生命に障りはないから安心するが宜いと云ふ事で、其趣きがお屋敷へ電報で知らせがあつたから、取敢ず私が見舞旁々京都へ往つて、外にも容赦のならん事もあつたから、大山を散々叱付けて、御主人のお供は何がために致すかと極めつけて居る所でお前に起されて目が醒めたが、余り妙な夢だから、何か御前の御身の上に變つた事でも無けりや宜いがと、心懸りでならないのだ。」

と、夢物語を聞き了つた時子は、云ふべからざる惡感に打たれて、

「本當に妙な夢ですね、余り夢なんか見なすつた事も無い貴方が、奈何して那樣可厭な夢を御覽なすつたでせう。」

「だから私も變に思つて、奈何も心懸りでならないのだ。それに何程夢を見たつて、唸されるなんて事は始めてだからね。」

「ですけれど、御前の御身の上にお變りなすつた事でもあれば、直ぐにお屋敷へ電報が參りますから、那樣に御心配なさらなくても宜しうございますよ。それに夢は逆夢と云ふ事もありますから殊に依つたら悉皆と御病氣が御全快なさる兆かも知れませんよ。」

運恭は、やゝ氣が沈着いたのか、此時始めて烟草を喫して、

「どうか夢が逆夢になつて、御病氣でも御全快なさるのなら宜いが、お供の大山が見掛に依らん不埒者だから、ヒヨツと遊女町などへお供を爲なけりや宜いがと思ふのだ。」

「何と云つて御病氣中で被在るんですもの那樣事は無いでございませう、オヤ最う彼是二時になりますよ、お休みなすつては如何でございます。」

「うむ、夢物語でツイ永くなつた、私も寢るがお前も眠かつたらう、サア休むが宜い。」

「では、失禮致します。」

京城新聞

基督教青年會

渡邊暢氏の勞を多とす

組織は良果を結ぶ、基督教青年會が社會に貢獻する所の美なる効蹟は萬國の認むる所となる、從て其事業は日を逐ふて進歩擴張せられ、今や万國至る所に其組織を見ざるなきに至らんとす、昨年東京に万國大會を開催せられ各國知名の士相集りて意志を疏通せると共に將來貢獻すべき事業を協議せられたり、平生基督教に冷淡なる人にも青年會の事業が社會に及ぼせる偉大なる勢力は認識せられたり、基督教青年會は今や地球上に於ける有益なる一大機關となるに至れり、基督曰く天國は芥種の如し其種子微小なりと雖も成長すれば空の鳥も之に宿ると、總て善事業は始め小なりと雖も終には能く發達するものなり、帝國に於ける基督教青年會の事業も漸次伸張し、日露戰役の際には會員從軍し道を說き兵士を慰むる傍ら天幕內に娛樂場を設け淸き遊樂をなさしめ以て士氣を鼓舞せしめたり、此事畏くも天聽に達し皇后陛下より御下賜金あり、此天幕事業は續て滿州に於ける駐屯軍の慰藉をなし、韓國に於ては鐵道青年會を設け先づ此階級に向て其事業を開始せられたりと雖も在留邦人一般に渉らざるを遺憾としたるに、今や在留の有志に依りて京城基督教青年會の設立を見るに至る、余輩は此殖民地青年の元氣涵養に大なる効力あるべきを信じて衷心より同情するに吝ならざるなり、

殖民地の初は何處も同一なるが、社會の機關が單調なると淸楚なる家庭を缺く爲に淸新なる娛樂少く、從て酒色其他の惡樂に耽り其德性を陷落せしむ、之を矯正し其德性を涵養に努むることは殖民地經營に於ける最も緊要の事とす、其德性涵養に就ては宗教ありと雖も唯其教理を說くに止るを以て比較的効果少し青年會は社交的に總ての方面に渉るを以て、直接に道を說くよりも却て良好の結果を社會に及ぼすなり、假令其宗教を信ぜざるも淸き娛樂の間に其感化を受けて自然に德性の薰育を得るに至る、歐米各國に於ける青年會が年々隆昌に至るは之が爲なり、在韓邦人の現狀を見るに官民共に其趣味の墮落名狀すべからざるものあり、此際に於て基督教青年會の憤起を見る芥種の如くに成育し我在韓青年の德性涵養に就て偉大なる効蹟を擧げられんことを切望す、

韓國にも夙に基督教青年會あり、之に關係せるもの較もすれば政治上に關係せんとする傾向ありしも、頃者漸く惡風を絕ちて其眞面目を發揮するに至らんとす、將來は日韓人を一括して働くことを得べし、殊に京城の青年會は上海の手を離れて日本基督教青年會に屬したるを以て更に其便宜を得べけん乎、

惟ふに英米獨等に於て斯の青年會が偉大の効績を擧るに至れるは其爲す事の善にして當事者の熱心に依ると雖も、更に社會の後援ありて財源の豐なるも一の大原因たらずんば非ず、富者は之が爲に吝まず財を擲し有志は起て之が斡旋をなす、公共事業に好で財を投ずるは歐米人士の美風なり、彼國に慈善事業の發達せるは全く之が爲ならずんばあらず、之等の有益なる事業に對して直接間接に助力後援するは將さに社會の義務たるなり、

雜報

●衛戍區處の撤去

京城及其附近の安寧秩序取締の爲め客年七月二十四日以來[illegible]京城理事官館國軍部次官等をして京城衛戍司令官の區處を受けしめ來りしも目下の狀況其必要を認めざるを以て二十日限り之を廢止せり

●阪谷男の門司着

阪谷男爵は昨朝門司へ着したる旨電報あり

●長谷川大將の歸朝

長谷川駐韓軍司令官は來月早々歸朝する筈なり

●小野寺少將出發

平壤に駐剳せし第十三師團第二十六旅團長小野寺少將は二十一日夜出發歸還の途に就かれたり

●鶴原長官の辭職

兼ねて噂ありし如く統監府總務長官鶴原定吉氏は愈廿一日依願本官を免ぜられたり其後任は未定なるも統監府參與官石塚英藏氏臨時統監府總務長官事務取扱を命ぜられ尙地方部長兼務となれり

●太皇帝の下賜金

太皇帝は京城淨土宗教會へ金五十圓御下賜相成りたり

●各開教師の献品

本月廿日皇太子殿下千秋節の際京城淨土宗開教師見山德達監事朴詠陽外三名及び本派本願寺大聖教會開教師巖常圓は祝文に菓果外八品を添へ德壽宮に献納せり

●太皇帝と孤兒院

太皇帝には先日京城孤兒院へ金三十圓及び米二十俵を下賜せられたるが皇太子千秋節の日同院孤兒五十名は職員に引率され德壽宮平成門前に來り萬歲を三唱したる際菓子一基を御下賜ありたりと

●砲工兵の着龍

第六師團砲兵第六聯隊及び工兵第六大隊の一部隊は昨日釜山に上陸し午前十時發の列車に乘り込み同日午後八時二十分龍山に着したり

●五十二聯隊の出發

第十三師團の第五十二聯隊第二中隊の二個小隊は二十日平壤出發二十二日午前十一時二十五分龍山より歸還の途に就けり

●海州守備隊の歸還

海州守備隊は昨日仁川驛を發し歸還の途に就けり

●獨逸軍艦出港

別項獨逸軍艦アーコナ號は二十四日仁川拔錨長崎に直航する筈なりといふ

●獨逸軍艦の表祝

一昨日仁川に入港したる獨逸軍艦アーコナは昨日は獨逸皇后陛下の生誕日に相當せしかば正午禮砲を發し滿艦飾を施して祝意を表したり

●理事官民長の訪問

信夫仁川理事官は富田民長と同道し昨日目下碇泊中の獨逸軍艦アーコナを訪問し獨逸皇后生誕日の祝意を表せり

●アーコナ艦長の挨拶

獨逸軍艦長フォン、ヒッペル氏は昨日上陸して信夫理事官富田民長を訪問し入港の挨拶をなせり

●赤十字社彙報

◎社員の特典　今回の總會に參列する赤十字社員の爲め昌德宮內の秘苑並景福宮拜觀方に付豫て委員總長より其筋へ出願中なりしが此程宮內府大臣より總會翌日十一月一日に限り特に拜觀の許可ありたるに依り社員は總會參列の際會場受付にて拜觀券の交付を受取置き秘苑は宣仁門（大韓醫院正門前）景福宮は光化門より入り靜肅に拜觀あるべしと

◎特許局員の入社　總會の盛典に際し日韓人の篤志者にして新に入社する者頗る多く現に統監府及特許局の高等官判任官其他府員にして從來入社の機會を得ざりし者は昨日一同入社の手續を了したり

●京城第一民會

京城居留民團改選後の第一民會は役員撰擧の爲め一昨日午後六時より民團役所樓上に於て開會されたり熊谷民長假議長となり先づ各員の議席を抽籤を以て定め次に議長の撰擧を行ひしに其結果は左の如し

十點　和田常市
七點　曾我勉
一點　中村再造

即ち和田氏多數を以て議長に當撰したれば熊谷民長は和田新議長に席を讓りたり和田氏は直に議長席に就き當選の挨拶をなし夫より會計委員四名の選擧を行ひたるに其結果は左の如し

中村再造　秋吉富太郎
松永達二郎　關繁太郎

役員の選擧終るや熊谷民長は議會不成中期間に於ける重なる取扱事項を報告して閉會せり夫より熊谷民長は別室に於てシャンパン酒の杯を擧げて議會の成立と各議員の健康を祝し和氣靄々の中に散會したり

●熊谷民長の報告

一昨日の居留民會に於て熊谷民長がなしたる報告及方針の大要は左の如し

居留民會の成立を告げ茲に諸君に相見ゆるは本職の光榮とする處なり顧れば前期議員諸君は實に居留民團設立の始に當りて選出せられ當時民團の施設經營すべきもの頗る多く從て其の任期間に於て議決執行せし事件亦不少今回新に任に就かれたる諸君に對し就ては其の功績を述ぶるは本職の責務なりとす

▲敎育　小學校經營は既に民團設置以前に於て大計畫のあるあり未曾有の大建築は半ば成功し何人も此處數年間は兒童を收容し得べしと信し居りしも邦人の渡來は日に月に多きを加へ當時の豫想は現今の三分の一たにも及ばず遂に再び十萬の資を投し南大門內に第二小學校を建設するに至れり而して中等敎育機關の設備は時勢の發展に促されて遂に高等女學校の設置を見ると同時に幼稚園を增設し今亦第三小學校の設立を爲さんとするが如き其の一なりと云ふべし

▲衛生　衞生設備の不完全なるは內外共に遺憾とする處なりしに漢城病院診察所の改築避病院の改造等漸次完備に近つきつゝあるは頗る意を強ふするに足れり

▲土木　道路の不完全なりしは京城の一大缺點とも稱すべく交通の不便は延て民團發展の障害を來すの原因なるを以て客年度に於て數萬金を費し稍完全に近き路面を作りたる以後は日韓人共に其の恩澤に浴するに至りたるは大なる功績なりと謂ふべし

▲財政　財政を鞏固するには自治團體の維持上必須の事なりと雖も急速なる發展に伴ふ諸般の經費は之を一般の收入に待つ能はず爲に明治四十年度に於て四萬餘圓を借入れ前數年度より承けたる六万餘圓を合し十萬數千圓の負債を生せり然れども一方新に南署屯芝坊萬月里に約九千坪南大門內高等女學校第二小學校並其の敷地大和町に小學校敎員舍宅其の他新築民團役所、青坡病院、一萬二千餘坪の軍用地使用權を有する等實際上の計算は負債に倍蓰する財產を增せり尙歲入は年々增加の傾向を示すを以て我民團財政の前途は大に樂觀するを得るに至れり

以上は既往の二箇年間に於ける實績の大要にして現在に於ける吏員の配置收支の狀況財產其の他諸統計は別表を以て貴覽に供す就て了得せられんことを希ふ尙本職の諸君と共に將來に向て經營すべき希望の一端を擧ぐれば

▲敎育　小學校の現在生徒數は實に二千十一名にして益々增加しつゝある就學生徒の數は殆んど底止する處を知らざるの盛況にして龍山軍用地に第二小學校分敎場並に第三小學校新設は四十二年度に於て之を設置せんと思料せり

▲衛生　漢城病院病室及避病院の改善に就ても又焦慮する處なり

▲其の他　龍山軍用地の經營道路市の擴張大下水の設備等多大なる事業として中學校の新設あり又居留民團規則は今日の狀態に通せざるを以て之が改正に就ては目下調査中に屬す此等は何れも他日諸君と共に研究せんことを期す

●韓國收入印紙の改正

度支部は部令を以て現在の收入印紙を左の如く改正し來る十一月一日より施行すと云ふ尙は本令施行前にありて製造又は賣下げたる者は賣下又は貼用するも妨なしと

十圓	內紋	茶色	外紋	濃紅色
五圓	內紋	薄茶色	外紋	濃茶色
一圓	內紋	鶯色	外紋	濃青色

●沿岸航路と補助願

木浦なる竹內鶴太郎氏は豫て同地を起點とし附近の沿岸航路を經營せしが今回木浦より秋子島を經て濟州島朝天に至る航路及び木浦より珍島、莞島、長興縣海倉へ至る航路並に木浦より智島法聖浦に至る航路、木浦より智島法聖浦を經て茁浦群山に至る航路の四線の經營をなして同地附近沿岸島嶼の航通を完全にするの計畫を立て年額三萬圓の補助金交付を農商工部に出願せり

●郵便貯金

本年六月末の調査に因れば韓國內の郵便貯金者人員は六万五千五百五十七人にして其預金額は壹百貳拾七万七千貳百四拾五圓五拾參錢四厘にして追々增加の見込ありと云ふ

●仁川外國貿易旬報

仁川港に於ける本月中旬の外國貿易額は輸出四萬五千二百三十四圓、輸入四十五万七千二百六十四圓合計五十万二千四百八十八圓にして四十一萬二千二十圓の輸入超過なり其重なる輸出品は米一万千五百六圓、大豆及小豆一萬三千七百六十六圓、牛皮六千六百四十四圓、重なる輸入品は食塩千八百五十三圓、砂糖及糖千八百七十七圓、淸酒一万千八百三圓、石油七十七圓、綿織糸八千七百六十九圓、生金巾及シーチング十一万六千五百七十二圓、晒金巾三萬二千五百五十圓、日本木綿三千六百九十五圓、麻布百十七圓、絹布二萬四千二百三十圓、紙八千二百五十六圓、石炭二萬千五百九十三圓、熟鐵二千三百七十八圓、烟草一萬六千百五十圓、木材及板一萬六千九十四圓、セメント及石炭一万二百十三圓、マッチ千四千八百十七圓なりと

●商船增航船入港

穀物出廻期に向ふにつき大阪商船會社は西岸航路を增加すべしとは既報せし所なるが右增航船安平丸は昨日石炭千六百屯を積み仁川へ入港甚隆丸は三井石炭五百三十八屯を積みて明日入港の豫定なりと

●暴地と地方狀況

△平壤分隊管內　大体に於て著しき變態なし鐵路以西は各道共平穩なり本期間黃海道海州郡所羅面附近に約三五名の賊徒回出現したるも強盜に均しき擧にして其後平穩に歸したり鐵路以東は平安北道熙川、溫井、洞原、碧潼管內に亙り六名乃至四五名の賊徒十三回出沒せり平安南道殷山、孟山、价川、順川附近四の名乃至十名內外の賊徒五六回出沒せり又江東、三登、成川、陽德郡に亙り六名乃至六七十名の賊徒徘徊し不穩の情態にあり其他黃海道の一部遂安、大水口、谷山、新溪附近には二三名乃至廿四五名の賊出沒し前期と異ならず管內一般農作物良好なり

△原昌管區　平穩なり然れども本期間宮興里原昌に於て賊徒の間諜者各一名を逮捕す

△安州管區　价川、寧山、殷山、順川、安州に亙り四名乃至十五六名の賊五回出沒せり

△平壤管區　鎭南浦沖合に海賊二回出沒し漁船を襲ひたることあるを以て警戒しつゝあり三登江東成川附近は前期に比し賊徒の出沒增加せり

△遂安管區　前期間に比し賊徒の出沒減少せり本期間四名乃至二十名の賊六回出沒せしも何等被害なし

△載寧管區　賊魁韓應七歸順後賊の出沒を聞かさりしも本期間海州郡新羅面附近に一回二十余名の賊出沒せり其後平穩なり

△天安分隊管內　全羅北道は尙賊徒の出沒頻繁なり忠淸南道は公州より牙山に至れる線北西に於て二十名乃至約七十名の賊徒出沒せり忠淸北道は陰城郡地方に約三十名の賊出沒するのみ其他の地方にては小數の賊稀に出沒するのみなりき

△洪州管區　前期に比し賊の出沒頻繁なり就中靑陽藍浦郡地方にては賊魁美良善なる者部下七十餘を率ひて出沒し又雞鳩附近には賊魁李敎哲及閔昌植なる者合せて五六十名の賊團となり尙賊徒の募集に努め人民を脅迫して本年の收穫米を軍糧の名義を以て提供せしめんとする情態にあるより民心不安の現狀なり

（未完）

●穀物協會の役員會

仁川穀物協會は[illegible]廿二日午後一時より役員會を開きたり

●第二小學校開校式

南大門內に新築せし京城居留民團立第二尋常高等小學校に於ては來る二十七日午前九時より御眞影の拜戴式をなし午後二時より盛大なる開校式を擧行する筈なり當日は曾禰副統監及び三浦理事官等の演說祝詞ある由なり

●赤十字社協議會

赤十字支部副總長は來廿五日花月に於て協議會を開く由なり

●高女學生の仁川行

京城高等女學校生徒八十名は昨日校長以下職員九名に引率せられて下仁し棧橋停車場より降車し觀測所仁川小學校より分敎場に至り茲にて午餐の後公園月尾島を見午後五時の滊車にて歸京せしが仁川民團よりは職員へ二十五年紀念史及び生徒へ繪葉書等を贈り尙ビール菓子を供したりと云ふ

●仁川軍友團運動會

仁川軍友團は來月一日万石洞に於て秋季大運動會を開催する由なるが春季大會以後渡航せる在韓軍人及移動者は仁川商船會社內藤波氏迄申出づべしとなり

●仁川會議所報告書

仁川商業會議所に於て取扱ひたる四十年報告は此程印刷成り出刊したるが四百十餘ページの大紙數にて仁川に於ける商工業及び貿易の狀況其地方に於ける經濟上の狀況等一切網羅しありて斯業者に取りて絕好の參考たるべし

●安達參事官の下仁

佛國大使館參事官法學博士安達峯一郎氏は本日下仁し信夫理事官と午餐を共にし五時歸京したるが本日出發滿州に向ふ筈

●藤原書記官等の歸京

阪谷男爵の一行を見送りて馬山釜山に赴きたる藤原度支部書記官寺尾關稅局事務官木村第一銀行員高橋興銀等は昨夜歸京せる筈なり

●遠藤事務官上京

鐵道管理局事務官遠藤太郎氏は不日東上の筈なり

●本願寺の報恩講

南山本願寺に於ては例年の通り本日より二十八日まで報恩講を執行し毎朝午後六時日中午前十時逮夜午後一時初夜午後七時半に說敎ありと云ふ

公人私人

▲菊池武一氏（平壤理事官）二十一日出京天眞樓
▲永島嚴氏（平壤控訴院長）同上
▲奥鍵藏氏（大藏省技師）廿一日入京天眞樓
▲平賀義美氏（工學博士）同上
▲秋本豐之助氏（鎭南浦理事官）二十一日出京山本旅館
▲高壯吉氏（八幡製鐵所技師）來京中の處一昨日釜山へ向け出發せり
▲田村沖之助氏（參謀本部附砲兵少佐）二十一日平壤へ向ふ
▲永谷淸治氏（同大尉）同上
▲有賀光豐氏（鎭南浦稅關長）二十一日歸任

近事片々

▲漁業　法近々發布せらるべしと云ふ之に依りて韓海の漁業は多少發達の緒を見ん乎
▲漁場　を擔保として資金の流通をなし得るに至らば其經營上大に困難を減ずべき也
▲更に　望む所は江原咸鏡沿岸の大漁業の着手なり當業者の飛躍將さに此機にある也
▲英國　が巴爾幹の騷亂に關して埃及に對する決心を更に強固にしたりとの說は異乎
▲之に　就て埃及人に多少の反抗するも意に介せず斷乎たる決心ありと或は異ならむ
▲米國　が布哇を併せ玖馬比律賓を併するにも何等顧慮するなかりき斷行即ち勝也
▲墺國　今回の合併も獨逸の後援ありとは云ひ乍ら其斷行に雄なるは欵賞の價ある也
▲躊躇　逡巡寸前障魔盆簇して居れば[illegible]生じて終に其目的を流失して悔るに至らん
▲東歐　動亂は帝國外交の飛躍をなすべき機會ならざる乎良外交家なきこと遺憾なれ
▲韓國　に於ける獨逸の潛勢力は實に恐るべき者あり帝國の最も注目すべき事ならん
▲淸國　に對する商業の敵は英に非ず米に非ず全く獨逸也政治上に於ても亦然らん乎
▲獨逸　の將來は實に恐るべきもの帝國は宜しく獨逸の潛勢力に向て深き警戒を要す
▲殊に　南淸に於ける獨逸の商業的勢力は頗る高大其勢力漸次北進しつゝある傾向也
▲近き　未來に於て滿州が獨逸の商業的網張となる事は明也東洋に於ける地位一變せん
▲米淸　同盟恐るゝに足らず露國の親和恐るゝに足らず恐るべきは獨逸の商賈的勢力
▲滿州　に於て露國は百八十萬圓の資を以て甜菜製糖を經營すると云ふ之れ好事業也
▲全体　日本人が之を經營すべきこと露人に先じられたるは甚だ遺憾糖業家奮起せよ
▲露國　人は砂糖を用ゆる事多し毎年幾萬艦隊によりて西比利亞に入る砂糖は莫大也
▲概し　て錐菜糖の外用ひず立錐形の甜菜糖の東亞露領に入るもの約一千五百万圓也
▲正金　銀行米國實業家招待の際新聞記者を侮辱したる爲め新聞團に決議せらる愚也
▲時事　朝日報知日本等の大新聞十七社團盟して正金銀行の不都合を決議したるは快
▲世の　實業家なるもの稱すれば新聞記者を輕蔑する傾有現等新聞の何たるを不解
▲新聞　紙は今や國家の重要機關也之に重きを置かざる者は全く事理を解せざる者也

●美人の末路（四）

山田は政江がいよ/\仇し男と遑ならぬ穢れを重ねを爲し居ることの事實を確めたれば烈火の如く憤り果ては可愛さ餘つて憎さが百倍とやらの譬へ通り或る日物をも言はず突如女の髮を引き摑み邪の愛な薄情阿魔奴がヨヽよくも俺をだましたな不義の天罰思ひ知れと許りに蝶々の如き拳を振り擧げて所嫌はず撲ち打擲し尚々ソレにも飽き足らず足蹴に迄掛てヱヽといふ程懲らしめたるが政江は更に平氣にてサア撲つなら撲ちやイツソの事殺して了つたが男らしいものを……エヽすまされたと思へばツリヤあなたも口惜しくもあらうが妾しだツてまだヤツと十九の花盛り何の當もなしに此の朝鮮三界迄流れ流れて來やうものを其方に肌を許せしも元はどいへば金づくから、ソレに圍はれものゝ日陰の身の隱し男の一人や二人有るは世間の習ひツウいふれ前てそ自分の年と相談していふが宜い野暮な事は止れ廢しにし……そあなたの不爲よと女だてらに大膽にも斯くと啖呵を切りしより山田は今更らながら女の惡性なるに呆れ果て此れといふも斯のやうな女にたづさはりしが吾が身の不覺と今は漸く迷ひの夢より醒め結局百圓の手切金を與へて關係を斷つことゝはなりたり

さても政江は山田と關係を斷ちしよりは例の憲兵川村とかいふ男を自分の家に引き入れ女房氣取りの世話振りも政江さんぢや水臭くつてよねー貴郎れ政といつて頂戴なとまるで芝居で見るやうな出來合夫婦の型を其の儘に面白ろ可笑しく其の日を暮し居りしが其の中男といふが憲兵隊の命令にて京畿道通津といふ片田舍に轉任することゝなりしより政江は痛く落膽し果てはよゝと許りに泣き崩れしが男は漸く宥め慊し追つけ又々京城に歸る折もあるべければまづ身体を大事にして辛抱してと貯へ置きし五十圓の金をば當座の小使にと與へ軈て互につきぬ胸の思ひを抱かぬ別れを惜みて袂を別ちたるは去年の秋の初め頃なりき

男が一と度京城の地を去つてよりは政江はさながら取り殘されし片羽の如く戀し懷かしの思ひは胸に溢るゝ許り彼方の空を眺めては儘ならぬ浮世を喞ち明け暮れ泣きの淚で日を送りつゝありしも开はホンの束の間十日と過ぎ二十日と暮す中にいつしか男のことは打ち忘れ又々元の浮氣な性質に立ち歸へりしが最早京城も面白からねば這度は場所を替へて龍山に赴かばやと早速同地のある安下宿に引き移り當坐は何の爲すこともなく空しく日をば送りける中ヽト近所に店を持てる曽川とかいふ洋服屋のまだ世間知らずの若旦那をばマンマと擒とはなしたるなり

●演藝會順序　既記の如く京城基督教青年會にては同會事業資金募集の爲め今廿三日明廿四日の兩日午後五時開場同六時半開演にて本町座に於て大演藝會を開催する筈にて其演藝順序左の如し尚ほ同會の公共事業は江湖の贊同を惹起しつゝあれば定めて空前の盛會を來すべし

第一日 順序　司會者 飯島榮太郎

一、開會の辭　會長 渡邊暢
二、二曲合奏（箏 刈）　樂友會
　八雲　三宅民子
　同　澤田雪子
　同　日下部國子
　一節切　某氏
三、劍舞　某劍士外二名
四、尺八連管（松前追分節）　坂田東水外二名
五、バイオリン獨奏　ホツカー氏
六、觀世流仕舞　中川五星氏
七、薩摩琵琶　某氏
八、洋樂（ワルツ曲）
　バイオリン　樂友會員某氏
　オルガン伴奏　某令孃
休憩十分間
九、演劇　一乳姉妹（海岸の場）　酒井一座
　一放心家（喜劇）
閉會

第二日 順序　司會者 北原利男

一、開會の辭　岡田榮氏
二、薩摩琵琶　某氏
三、觀世流仕舞　中川五星氏
四、三曲合奏（六段）　樂友會
　八雲　澤田雪子
　同　日下部國子
　琴　三宅民子
　同　多治比松琴師
　尺八　稻本正音氏
五、劍舞　某劍士外二名
六、洋樂（オルバス曲）
　バイオリン　樂友會員某氏
　オルガン伴奏　某令孃
七、尺八連管（俗曲）　坂田東水氏外二名
八、二部合唱　ドクトルハーン氏 グレツグ氏
休憩十分間
演劇
一蘇生　酒井一座 三幕
閉會

●本妻乗り込みの段　過ぐる頃本欄に於てチヨツコン具体的に素ツ葉拔いた大和町一丁目の中川とかいふ自稱色男は其の後相不變下女と關係をつゞけ昨今にては誰が眼にも夫婦と外思はれず尚に女といふ日々長火鉢の前に坐りては大一番の丸髷か何んかでチンと濟まして居る所を見ると最早純然たる御內儀と相場は極つたやうなるが然るにツヒ此の間のことアタイころは正に歷然たる贓僞りなしの本妻だといふもの現はれ來り大分悶着せしがソレでも中川は下女の香の强き肉に遠ひ居りてツンナ女は知らぬ存ぜぬと空嘯いて相手にせざるより本妻は口惜しがり近所の世話好きのれ婆さんを賴んで下女放逐の鞘へ收めの運動を爲し居るとかヤレ/\

●丸帶から悶着　新町遊廓某樓の何子といふ娼妓は近頃少しの金の要り道ある所から衣類をば婆さんに托し此れで五六十圓調達して與るゝやうと依頼せしにれ婆さんは委細承知し明治町の三河屋といふ菓子屋に至り金の都合を相談せしに僅か三十圓の外貸せぬとのことなるよりそれでは困ると右の品物を携へて立ち歸らんとせる際丸帶一筋見ゐざるにぞ不思議に思ひて念爲主人に尋ねたるに主人は知らぬとのことなるより已むなく立ち歸り何子に向つて斯々の譯と打ち明けたりしに近頃に至り件の丸帶はやはり三河屋にあることを確めたればいよ/\喪沙汰となし昨今悶着中との事なり

商店覗き

▲貞島寒水堂▼　菓子屋としては京城中での御大將なり、羊羹、カステラ、ンバ饅頭、中香に茶通に鹿の子餅、タルト、金鍔、栗饅頭といふ工合に何んでも彼でも無いといふ品はなし店の工合は東京風にて飾り台及び硝子箱の配置から品物の並べ方等却々に意匠を凝りし居れり聞くならく同店の主義は原料をタツプリ使ひて品物に注意し而も安價にて販賣すとかいふ誠に結構な主義と謂ふべし尤も飴細りの小僧どんの言葉に少し許りの卸しの客は餘り歡迎せずとかのことなれど开は固より其の筈卸しといふ奴は數でコナされば利益のなきものなればなり客の待遇は至つて丁寧にて第一家族擧つて愛想良きは顧客の常に快感を催うす所なり主人は貞島品吉氏名譽領事並び備へ泥硯筋の紳商株として屢々民團議員の公職を帶びし人なり

▲岩田寫眞館▼　店運隆々として正に旭日昇天の慨あり果せる哉多年の精勵空しからず過ぐる頃元の店舖を撤し南大門通の巨館に引き移り花々しくも第二期の擴張時代にとは入りたり主人は今年三十有餘の血氣盛り技倆卓拔、商略縱橫而も事に當つて勤勉客に接して愛想好く且つ加ふるに內儀又商賣に拔目なく自ら店員を指揮して東奔西走するさまは世人の常に感服措く能はざる所とす思ふに曾て演せし『十年後の京城』の藝題の如くならんには同店の如きは唯に京城中に於てのみならず恐らく滿韓の同業者中其の第一位を占むるに至るべし

▲村田商店▼　南大門通りは三好町に曲らんとする角に宏大なる一構の店あり屋號は「村源」と稱し重もに陸軍の御用達を務め居れり商品は食料雜貨而も小賣りは一切爲さず卸し專問なり主人は村田源次郎氏ツヒ七八年前迄は印半纏草鞋穿きの姿にて一挺の天秤棒を肩にし魚屋渡世を爲し居りしが何にさま人に優れた商賣熱心と人物の着實とは追々と財を貯へ資を作り軈ては世間の人よりの信用も厚くなりし所から中途にして魚商を廢め現今の商賣を營みしが瞬く間に店運の隆盛を來し終に今日の如き成功を見るに至れり家風は質素なれども商賣振りは極めて大膽に時には他との競爭上豫め損耗を來すとは知りつゝも意地と張りなら後へは退かねどいふ主人の氣風が面白し

訂正　昨紙龜屋商店の項中ビールのハケ高九百七十八箱とありしは四百有餘箱の聞き違ひにつき爰に訂正す

●腸窒扶斯　龍山鐵道官舍第三合宿三十六號關谷福次郎（二十）は十九日發病昨日龍山避病舍に送らる

巷のいろ/\

◉板を盗む　住所不詳李春根なるものは一昨日午後八時南大門外より松板一坪餘を盗み擔かせ行く處を銅峴分署の刑事に認められ同署へ引致されたり

◉トタンを盗む　住所不詳金龍尹趙順童の二名が一昨日午後トタン板を擔ぎ行く處を巡廻巡査之を竹洞通りにて認め其まゝ銅峴分署に引致したるが心當りの者なきや

◉阿片で拘引　一昨日午前八時美洞統戶不詳金鐘九方に於て雀明玉なるものが阿片を吸引し居る處を巡廻巡査に認められ銅峴分署へ引致す

◉醉拂ひ往來に高鼾　靑橋居住安在舛なる爺が一昨日午後八時頃泥醉して足腰立たず道端に橫臥し居りたるより銅峴分署へ連れ行き醉の醒めたる後ち嚴重に說諭を加へて放還す

◉トタン板泥棒　西部永成門外金昌植（二五）及び朴漢俊（三六）の兩人は本年三月頃より宮內府土木課人夫として雇はれ働き居りし中共謀して同府貯藏の紅丹板百二十枚を竊取し之を西湖血豚里の金順興なる者に四十圓責土硯姜允熙なる者に十二圓にて賣却し踪跡を晦まし居りしが本月十七日遂に其筋の手に捕へられ一昨日檢事局に送らる

●辻屋の景品附賣出し　本町二丁目の辻屋本支店にては來る十一月一日より五日迄金千五百圓の景品附大賣出しをなすといふ

●皆春樓の菊花　新町遊廓皆春樓にては昨年菊花を栽培して來客の觀覽に供し頗る好評を博せしが本年も又た之を栽培し既に開花するに至りたれば昨日より一般來客の觀覽に供し居れるが本年は昨年の分に新種類數十種を加へたる中には一本の價百圓に及ぶ名花もありと何は縱覽者の注文に依り一人前二十錢の茶菓及び一圓五十錢の會席をも之れが需めに應するといへり

廣告

●都々逸　同可娯欄（十六）　漁友痴史
（本紙登載廣告）

▲待合●春日●
智惠をかすがの女將の氣轉
取り持つ苦みの花の枝

▲同いねのや●
一と夜いねのや穂に現れて
浮名立木のはづかしさ

▲同嬉し野●
首尾を待合夜もひつそりと
逢ふてうれしの濡る路

▲無料紹介欄▼

人事部

●新聞社の校正係又は外交員を希望年三十五元刑事且つ活版事業に經驗ある者 匁名在社(五八)

●求婚 本年二十八月收八十圓血正体健十八九の良家の淑女と結婚したし 氏名在社(六七)

●外交係入用 市内保證人あるもの本人直接來談を乞ふ 南山町二の一七三農商工組合事務所(六七)

●弟子入用 但し十四五歳のもの 氏名在社(六八)

●求婚 年廿六血統正係累無月收五十圓容姿不問廿歳前後体健血正の女子と結婚したし 氏名在社(七〇)

京城又は附近にて豆粕の製造所又は販賣所あらば御知らせを乞ふ 氏名在社(七一)

●被雇度 朝九時より午後三時迄の間雇はれたし給金不望年十九保證人あり 氏名在社(七二)

夜間自宅にて筆耕に從事す御依賴の方あらば御申越し次第參堂の上委細承致すべし 姓名在社(七四)

(七三)エム生に答ふ長谷川町一丁目三〇番戶に來れ エチ生(七五)

仲居入用 年齡十七年より廿五六年者至急一名入用但料理店に心得の有る者なれば尚宜し 大和町一江戶菴(七九)

熊本縣人 **市下確**氏の消息を知りたし エヌ生(七七)

●年齡廿五歳（妻帶者）會社銀行等の小使ひに雇はれたし 姓名在社(八〇)

物件部

●從來開業中の處突然歸國の不得已に付醫療機械藥品及び患者付の儘にて至急讓渡したし 姓名在社(四七)

●旭町一丁目通溫突十五間地所附（但七十坪）安價に讓りたし 姓名在社(六十)

●貸間 本欄人事部に御答申すオントル一間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞ふ永樂町佛國教會裏山田(六三)

古着類買たし本町七丁目一六號賣(六四)

●賣地 旭町一丁目の山の手にて風景絕佳の土地家屋附にて讓りたし御望みの御方は御來談を乞ふ 姓名在社(七〇)

一本町より明治町に入三軒目空地三十坪斗附の貸家あり 櫻井時計店(七八)

裁縫、刺繡、編物、造花、摘細工、英語教授す 和服仕立物御注文に應ず 大和町三丁目廿六番戶 古谷(八二)

貸地

龍山十五間道路南大門外四千坪割貸
本町 四ヶ所洋物店電三二一番(八二)

廣告

●事務員募集
二十才以下
旭町壹丁目
岡田辯護士事務所

▲印刷開業▼
本日より左記の處にて開業仕候間續々御注文被仰付度奉願上候
永樂町二丁目（赤門通）
仁川活版 京城支店
▲印刷開業▼

色御好み洋服に應ず
丸淥
京城本町六丁目
藤米商店

清酒値上廣告

一清酒大樽一挺ニ付金一圓
一清酒一升ニ付金五錢
右來ル十月廿五日ヨリ値上仕候
十月二十一日
京城酒商組合

GDS
土耳古煙草直輸入御小賣
本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尙ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ
明治町壹丁目
ジーデーシエリス會社
出張所 エムジーシエリス

○岡野牧場は京城に於て最良の乳牛を有する事第一位にあり

長命せんとする人は
是れを讀まれよ

京城に於てエーアシヤ種ホルスタン種純粹乳牛を以て搾取する牛乳屋は岡野牧場なり
岡野牧場の牛乳は嚴密なる理學的檢査をなし配達す
岡野牧場の牛乳は嶄新完全の**瀛熱消毒器**を以て消毒したる者なれば風味極めて佳良なり
岡野牧場主は多年牛乳に關する經驗を有し本店は廣島市に於て有數の消毒馬車配達牛乳屋なり
岡野牧場は品質の優秀と親切と可尊とを以て本日誕生したるものなり

廣島市觀音村
岡野牧場本店
京城東四軒町
岡野牧場支店

○岡野牧場は衛生的の點に有て乳牛飼養に第一位にあり

申込所
本町九丁目三番戶 谷岡商店
同 本町三丁目 有田商店

○岡野牧場は京城に於て無比の勉強力を有する事第一位にあり
○品質優秀は○○牛乳を以て販賣するは岡野牧場を以て第一位にあり

京城基督教青年會
演藝會
今二十三日明二十四日午後五時開場午後六時半開演
會場 **本町座**
酒井一座演劇、奏樂、琵琶、劍舞其他（入場券は當夜會場にて發賣）

冬物大賣出し
來る十六日より二十五日迄
現金に限り
正札より一割引
外に見切反物並に各種釣り切れ
京城本町四丁目 澤山

君が代足袋發賣元
山口呉服店
（長電話九番）

●…火付善く火力耐久價格低廉 用途 瀛鑵、暖爐、竈用に適す
…●…周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城南大門通 電話三〇六番 **巴商會**
韓國一手販賣 京城本町二丁目 **和田商會**

入院隨意
京城壽町三丁目（元阪井病院跡番）
高井醫院
（電話二一六）
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

直輸入外國貨御披露
一トルコ紙卷 エジプト紙卷
一ハバナ葉卷 マニラ葉卷
其他パイプ、ケース、等附屬品一切
右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉强販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候
京城本町二丁目
トルコ煙草日希商會
D.C. MENEASCO.

茶 卸小賣
紅茶コーヒー
吉 **開春園**
京城旭町二丁目

御下宿開業
西大館 中川良夫
西大門外停車場前通

○○入院隨意○○
梅毒產科 內外科 眼科 婦人科 小兒科
吉田病院
南山町三丁目
診療叮嚀

待合
嬉野
本町五丁目より入る 永樂町二丁目
從來營業仕居候上今般に移轉致し閑靜なる間數も多數有し上席料其他總てに於て勉强仕候に付永當く御來遊の程奉願上候

洋種純良牛乳
電話七五三番 七一七番
秋次
京城南大門外
荒井牧場

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城曙町（電話七三番）
營業所 同本町三丁目（電話四〇番）

○梅毒 ○淋病專門
○眼科 ○外科
十字病院
院長 醫科大學選科得業 望月
醫者 山一町 松一

開業御披露

拜啓秋冷之候各位益々御淸適奉慶賀候陳ば時局の發展に伴ひ百般の業務漸く整ふさるゝも未だ藥湯溫泉の完全なるものを見ざるは誠に遺憾とする處に候今回弊場は嘗て皇太子殿下の御湯治あらせられたる別府溫泉を輸入し加ふるに水道良水をも使用し殊に朝湯の便を計り午前八時より御入浴相成樣設備を了へ開業仕候尙御湯來の際は從來の四錢にては頗る高價にして一般浴客の遺憾とせらるゝ處なれば弊湯は顧客樣方の御便宜を計り特に左記の通りに勉强仕候間陸續御光來被下度奉願上候 敬具

主治効能
肺病 胃病 腹膜炎
肋膜炎 頭痛 皮膚病
ひぜん 黴毒 骨筋痛
せんき 子宮病 うちみ
切傷 一切

湯錢 大人 三錢
小人 壹錢五厘

京城本町七丁目壹番戶
別府溫泉

太物洋反綿類蒲團
京城郵便局前
(あ) **秋山商店**
電話一七六番

●●●破天荒の大安賣●●●
華客諸彥平素の御愛顧に酬ゆるため今般最新流行品の着荷御披露をかね大々的奮發をなし破天荒の安價を以て相働き可申候
特に **玉振時計** は金
二圓八拾錢 にて發賣仕候
尤も本品は機械の堅牢なるは勿論一々確實なる保險證を相添へ申候
明治町壹丁目
櫻井時計店
●●●破天荒の大安賣●●●

むつ灸廣告
六ツ灸の特効 赤痢、チヨウチブス、コレラ其外下痢一切立所に治すると妙神
六ツ灸の特長 大熱を冷まし風引及マラリヤを速治するを他に並びなし
六ツ灸の特色 ヨコデ及梅毒は如何なる重患之難も全治せざるとなく又再發傳染のうれいなし
此治療料は全快の上申受く特に貧者には施療す
胃病。腦病。脚氣。神經痛。リヨウマチス。トラホーム。其他眼病一切血の道。子宮。齒痛。癲癇。癪病腫物其他諸病根切
本町七丁目北、花園町
むつ灸治療所
青昌堂 青木直太郎

開店御披露
かしわ 牛肉 **すき燒**
多少に拘らず出前可仕候
南山町二丁目松葉亭隣
とり清

純良牛乳
消毒安全

肥前塊炭
貯炭場 龍山電車停留場裏

鐵工業
工場 永樂町一丁目

穀物及食糧雜貨
商店 明治町一丁目
右各營業共誠實迅速を旨として勉強仕候間多少に不拘御用命被仰付度候

店主 **山邊仙十郎**
明治町一丁目
電話三十七番

產婆並にマツサージ開業
南山町三丁目百十番戶（日本人俱樂部下手）
今般前漢城病院內科部長池田醫伯の御勸誘に從ひ前記の場所にて開業仕候
電話番號四二四番取次
横山とい

洋和煖爐販賣
並に附屬品一式
煙突取付請負
京城本町五丁目一番戶
馬木勇吉
電話四七一番

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲郵税一ケ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金四十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城南部小門通 京城新聞社 電話六二三番